



Cat[®] 374F L

油圧ショベル

2017

374F Lは、生産性の向上と、所有コストやオペレーティングコストの削減を目指して製造されました。さらに、出力、燃料効率、信頼性など、成功に必要な要素をすべて備えています。

作業性能

- C15 ACERT™エンジンは、オフロード法2014年 (Tier 4 Final) 排出ガス基準に適合しています。
- 独自のCat Adaptive Control System (ACS) バルブにより、必要な場所で必要なときに流量を確保することができるため、よりスムーズな操作と効率性の向上を実現できます。エンジンの燃料消費量は前モデルの374Dよりも最大10%削減しています。
- オートマッチングエンジンスピードコントロールが負荷に応じて回転数を下げ、燃料消費量を低減します。
- 複数のパワーモードで、燃料消費量を積極的に管理します。

Cat[®] Connect (Catコネク特) テクノロジ

- Cat Production Measurement (CPM) により、オペレータは積載質量をキャブ内から確認して、"作業を続けながら"計量することができます。
- CAT Connectテクノロジーソリューションは、LINKおよびDETECTテクノロジーを提供することにより、生産性を向上し、オペレーティングコストを最低限に抑え、投資利益を最適化します。
- VisionLink[®]では、車両の位置、稼働時間、非稼働時間、燃料消費量、生産性、診断コードなどの車両運転データに無線でアクセスできるため、車両性能を最適化します。

メンテナンス

- 給脂箇所やフルードタップなどの日常メンテナンス箇所には、地上から楽に手が届きます。
- 並列クリーニングシステム装備で清掃が容易です。
- 複数のS-O-SSMポートと圧力診断タップを備え、メンテナンス時の休車時間を短縮します。

快適性

- キャブは快適で、374Dよりも静粛性が3 dB (A) 向上しています。
- ジョイスティックコンソールとアームレストは調整できます。シートは調整式で、エアサスペンションと冷暖オプションが用意されています。
- LCDモニタは操作が簡単で、44言語でプログラミングできます。

汎用性

- Catシャーやマルチプロセッサにより、解体作業をすばやく簡単に完了。
- 専用のCatバケットとハンマーで採石作業にも難なく対応。

耐久性

- ブームとスティックは耐用年数の延長を目指して製造されています。
- 高い負荷のかかる部分には、多板構造、鋳造品、鍛造品を使った箱型断面構造を採用。トラックシュー、リンク、ローラ、アイドラ、ファイナルドライブは、引張り強度の高い鋼製です。
- グリース潤滑式のトラックリンクをピンとブッシュの間に配備し、足回りの寿命を延長するとともに騒音を低減。

安全性

- スマート給油により、高速充填燃料ポンプを停止すべき時を感知し、過剰な給油を防ぎます。
- リアビューカメラにより良好な視界を確保し、より効果的、効率的に作業を遂行。
- 延長されたハンドレールとガードレールがデッキ昇降時の安全性を確保し、滑り止めプレートがあらゆる天候で滑る危険を低減。



オフロード法2014年
基準適合

Cat® 374F L油圧ショベル

エンジン

エンジン名称	Cat C15 ACERT
エンジン出力 – ISO 14396	362 kW/485 hp
定格出力 (ネット) – SAE J1349	352 kW/472 hp
内径	137 mm
行程	171 mm
総行程容量	15.2 L

車両質量

運転質量	70,700 kg
*リーチ7.8 mブーム、R3.6VBスティック、3.0 m ³ バケット、650 mmシュー。	

油圧系統

メインシステム – 最大流量 (合計)	
作業装置	896 L/分
走行回路	952 L/分
最大圧力 – 作業機	35,000 kPa
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa
最大圧力 – 旋回時	35,000 kPa
パイロットシステム最大流量	63 L/分
パイロットシステム最大圧力	4,400 kPa

走行

最高走行速度	4.1 km/h
最大けん引力	492 kN

交換時の容量

燃料タンク容量	935 L
冷却水	74 L
エンジンオイル	60 L
旋回ドライブ (片側)	12 L
ファイナルドライブ (片側)	22 L
油圧系統 (タンクを含む)	729 L
作動油タンク	612 L
尿素水タンク	48 L

旋回

旋回速度	6.5 rpm
旋回モーメント	215 kN·m

寸法

ブームオプション	リーチブーム7.8 m
スティックオプション	R3.6VB
全高 (輸送時)	4,390 mm
全長 (輸送時)	13,320 mm
後端旋回半径	4,015 mm
ローラの中心間距離	4,705 mm
トラック全長	5,870 mm
最低地上高	840 mm
クローラ中心距離 – 縮幅時	2,750 mm
クローラ中心距離 – 拡幅時	3,410 mm
全幅 (輸送時) – 650 mmシュー	3,400 mm
全幅 (輸送時) – 900 mmシュー	3,650 mm
キャブ高さ	3,550 mm
カウンタウエイト下端高さ	1,540 mm

作業範囲

ブームオプション	リーチブーム7.8 m
スティックオプション	R3.6VB
最大掘削深さ	8,430 mm
最大床面掘削半径	13,010 mm
最大切削高さ	12,440 mm
最大ダンプ高さ	8,570 mm
最小ダンプ高さ	3,460 mm
最大垂直壁掘削深さ	7,560 mm

Cat製品、ディーラサービス、業種別ソリューションの詳細については、www.cat.com をご覧ください。

© 2016 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。装備可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM, それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow"および"Power Edge"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1928
(翻訳版: 09-2016)
(Japan)

